

<p>集中神学院 (84) :三つ(3チーム) 聖霊の導きで疎通→正しく味わう祈り</p>	<p>伝道弟子:絶対契約(ミッション)→靈的サミット</p>	<p>70人:絶対旅程(インターンシップ)→技能サミット</p>	<p>ミッションホーム:絶対目標(人生フォーラム)→文化サミット</p>
<p>* 序論-疎通 ▲今、私たちはおもに三つのこと(3チーム)の話をしている。この三つは、聖霊導きで「疎通」が成り立つこと。 1)専門化・タラッソンの多くのバートの疎通 2)集中訓練-各チーム間の疎通 3)日程-集会日程に対する疎通 4)建物、装備、インターネット、放送-こういうことのはやい疎通 5)教会(準備)-教会内部で疎通して準備しなさい。</p> <p>1.正しいミッションを見つける時(福音をもって始めるミッション)→祈りが正しく始まる。 1)過去-問題、傷、私の水準をみとばかり越えて抜け出しなさい。 2)現在-答えを味わうこと。ただ聖霊の満たしが臨めば力を受けて地の果てまで証人になる。 3)未来(使2:17-18)-未来と隠されたことが見える。 ▲この祈りが始まらなければならない。(マルコの屋上の間)</p> <p>2.正しい旅程→神様のみことばに従っていくインターンシップだ。 ▲私がミッションを正しく受けたら、どうやって行くべきかが出てくる。神様のみことばが私たちを完全に掌握しなければならぬ。みことばが動かなければならぬ。 1)流れ-みことばには流れ(背景+持続+未来)がある。 2)成就-みことばについて行くなら、みことばは必ず神様の時刻表に成就が成り立つようになっている。 3)道-このとき、道が見える。これが旅程だ。</p> <p>3.正しい生活→正しいフォーラムが成り立つ(証拠→証人=導き) ▲正しいフォーラムは、私たちに神様の証拠がくるから、私たちは証人になるしかなくて、これを話すのが伝道で、正しいフォーラムだ。(人生フォーラム) 1)今日のフォーラムが出てくる。 2)未来フォーラムはついてくる。 3)人生-それで私たちの人生フォーラムになることだ。</p> <p>* 結論→サタンの12、間違ったことから抜け出しなさい ▲サタンの戦略12から、間違ったことから抜け出さなければならぬ。結局、みなさんが後ほど見ると、神様がくださったことが人を生かす。それゆえ、みなさんが持っていないことではなく、すでにすべて持っているのだ。「ただ聖霊があなたをたの上に臨むとき、力を受けて、地の果てまで証人になります」と言われた。これをすべきた。 ▲そして「私はなぜこのようにダメなのか?」そのように考えずに待ちなさい。みなさんが今の場に、福音を伝える牧師とともに、礼拝をささげている。契約が本当に私のことになる恵みがなければならぬ。 ▲教会の中に苦しんでいる人がいるようでも、その人々がとにかくメッセージ聞こうと努める。それが少しずつ、少しずついやされて行くのだ。そうするうちに神様のみことばが、その人に正しく刻印されることを神様が願われる。何かをして治すのではなく、神様のみことばが安定的に入って、その人が正しく立つことを神様が願われるのだ。それゆえ、イスラエル民族を荒野に40年間、置かれたのだ。これが神様の計画ということだ。みなさんがこの程度に理解して、みなさんの働きが本当に大きいことではなくても、大きい影響を与えることができる。神様のことなので、そうだ。</p>	<p>* 序論 ▲今、多くの人々が世の中と暗やみに奴隷になっている状況だ。それなら、みなさんは、どのようにしなければならぬのか。神様の「絶対契約」を悟って、絶対契約を握らなければならない。このとき出てくるのが「ミッション」だ。このとき、神様が祝福されることがある。みなさんを「靈的サミット」にしてください。</p> <p>* 1講:モーセのミッションと靈的サミット* 1.序論→80歳になる時まで答えがこなかった。 ▲しかし、靈的サミットの答えを受ければ、希望がない80歳になった老人もできるということだ。 2.本論→靈的サミットとミッションへ行く道 1)出2:1-10、ヘブ11:23-27、母親に聞いた契約 2)ミデヤン(40年)-みことば回復(創世記記録) 3)ホレブ山-ミッションとともに靈的サミットとして立てられる場(出3:10-20) ▲みなさんが生涯を置いて、自分が絶対契約とミッションを握る瞬間に神様が私を靈的サミットにしてください。 3.結論→10の奇跡を起こした。(暗やみ文化X)</p> <p>* 2講:重職者のミッションと靈的サミット* 1.序論→絶対契約を握る瞬間、神様が人を準備させてください。 2.本論→重職者の靈的サミット 1)ヨケベデ(主の栄光)(出2:1-10) 2)イテロ(有名、卓越)-出3:1、出4:18、出18:1-21 3)ラハブ-ヨシ2:1、ヨシ2:1-16 3.結論→絶対時刻表の中にある重職者 ▲絶対契約、絶対時刻表の中にある重職者、世の中の人が知らない祝福を知ることが靈的サミットだ。</p> <p>* 3講:Remnantのミッションと靈的サミット* 1.序論→絶対契約を持った者2人で良い。 2.本論→2つの文章(ヨシ1:1-9ヨシユア、ヨシ14:6-15カレブ) 3.結論→最も難しいとき、この祝福を見つけて出しなさい。 ▲なぜなら聖書を見ると、困難に会うたびに絶対契約とミッションと靈的サミットの祝福を準備した。</p> <p>* 終わり* 1)本当に1%の人がいる。 2)0.1%の人がわかった。それでも世界は変化した。 3)ひとりならば良いという信仰を持ちなさい。 ▲絶対契約は行く所ごとに、教会ごとに、個人ごとにある。これを知らせることがミッションだ。すると、みなさんに靈的サミットの祝福をくださる。世の中に勝つほどの靈的祝福がくる。今日、この契約を握って靈的サミットの祝福、絶対ミッションを見つける日になることを願う。</p>	<p>* 序論 ▲みなさんは神様とともにいる重要な指導者になるべきだ。いくら困難の中においても、絶対契約を握れば、ミッションが見える。このときから靈的サミットの祝福が与えられる。靈的サミットになれば、多くの問題がきても関係がない。ひとまず力が生まれる。そして24祈りが成り立つ。それが一番幸せになるのだ。答えになるみことばを伝えるようになる。 ▲このとき、絶対契約を持つ人に「絶対旅程」が出てくる。本当に不思議な答えが始める。弟子が絶対旅程に行くように助けるのがインターンシップだ。このとき、来る重要な答えが「技能サミット」だ。神様がみなさんの小さいことを神様の御手で捕まえられるのが技能サミットだ。</p> <p>* 1講:モーセの絶対旅程(インターンシップ)-技能サミット* 1.序論→出エジプト、カナン、世界福音化 ▲神様がモーセに絶対旅程を与えられたが、出エジプト、カナン、世界福音化の旅程だ。信徒が行く人生がこのようにならなければならない。 2.本論→どんな答えをくださるのか。技能サミット! 1)過越祭、五旬節、仮庵祭の働きが起きる。 2)紅海に入る旅程の中で起きた働き 3)契約の箱の旅程-出25:21、民10:33、1サム4:11、1サム5:7-5、II歴6:41 ▲みなさんが本当に契約を握ってしなければならぬ。1人で充分だ。 3.結論→荒野40年の旅程(すべてをくださった)</p> <p>* 2講:絶対旅程を行う重職者* 1.序論→重職者(はRemnantと指導者の土台(出3:16-18) 2.本論→時期(危機) 1)出3:16、絶対的な時刻表 2)出14:9-11、紅海の前で2種類の人々 3)出18:13-27、イテロ長老の助言(インターンシップ) 4)ヨシ1:16-18、ヨシユアと重職者 5)ヨシ2:1-16、ラハブの告白と旅程 6)ヨシ3:2、ヨルダンと記念碑 7)ヨシ6:7、エリコを崩すのに先に立った重職者など 3.結論→ヨシ6:22-27ラハブ、マタ5:15ルソ</p> <p>* 3講:絶対旅程を行う次世代* 1.序論→出エジプト、カナン、世界福音化の主役として 2.本論→Remnantのための準備期間 1)12部族準備 2)70人長老準備 3)つかさ 4)ヨシユア 5)カレブ</p> <p>* 終わり→モーセの生涯* 1)40年-王宮 2)40年-ミデヤン 3)40年-荒野 ▲カナン征服は次世代の役割-神様はこのモーセを荒野旅行を終えながら、突然こ呼んで行かれる。その理由は何なんでしょうか。カナン征服は次世代の役割だ。みなさんがこの地に生きている間に、神様のあの次世代のための準備をしておいて行くのだ。これが旅程で、インターンシップだ。</p>	<p>* 序論 ▲私たちは何かを度々しようとするが、しないことも重要だ。その理由は、必ずしなければならぬことがあるためだ。 ①絶対契約(ミッション)-靈的サミット→絶対契約の中で出てくるミッションホームだ。私たちが神様の絶対契約を握るとき、私たちはミッションを見るようになる。このとき、靈的サミットの祝福をくださる。 ②絶対旅程(インターンシップ)-技能サミット→この答えを受ければ、自然に力が生まれ、未来が見えるゆえに絶対旅程に行くようになる。これをインターンシップと言う。このとき、神様は誰もできない答えをくださる。それが技能サミットだ。 ③私たちに最後に残った「絶対目標」がある。これが私たちの「人生フォーラム」になるべきだ。そのときに、神様が「文化サミット」の祝福をくださる。</p> <p>* 1講:絶対目標の中にあるモーセ* ▲モーセは神様の絶対目標をあらかじめ知っていた。 1.序論→ホレブ山で握った契約だ 2.本論→世界を変える文化サミット 1)幕屋-幕屋の中にはキリストのすべての契約がすべて入っている→契約の箱(契約祈り)+パンの机(礼拝祈り)+燭台(定刻祈り)+香の壇(24祈り)+洗盤(25祈り)+庭(未来に向かった永遠の祈り)+油(聖霊の満たし)→すべての文化をひっくり返すサミットだった。 2)天幕→すべての民が幕屋に向かって定刻祈りと、幕屋を見て方向を定めた。これは、みなさんが契約を握って正しく真つす祈ってしまえばみわざが起きる。 3)会見の天幕→集い、祭り、異邦人と子どもたちと病気の者が集まることのできる所だ。 3.結論 ▲モーセが残した5書には原因と答え+真の解答+礼拝+12部族+刻印/根/体質に対する答えが出ている。</p> <p>* 2講:絶対目標の中にある重職者* 1.序論→重職者が荒野で握った契約 2.本論→幕屋建築+アマレクとの戦争(出12:8-16)+カナン征服の主役 3.結論→世論と真理は区分しなければならぬ。(偵察10人と2人)</p> <p>* 3講:絶対目標の中にある次世代* 1.序論→次世代に与えるのは永遠の契約 2.本論→次世代に与えるように見えるが永遠なのだ。(申6:4-9、1サム7:1-15、II列6:8-24、イザ62:6-12、使17:1/使18:4/使19:8) 3.結論→そしてローマ征服となった。 ▲三つのサミットになれば重要なこと(ぐる)→あらかじめ答え+現場に行って確認+すべては未来準備+先に靈的征服が起きる+世界福音化が出てくるようになる。 ▲最後に記憶すること-契約を握る時間に三位一体の神様が臨み+御座の門+主の使い+暗やみの勢力が逃亡 契約を正しくして24祈れるならば、世界は変わる。</p>